



平成30年度 大浦小学校の歩み

一人一人が夢をもち、生き生きと活動し 学びと感動を実感できる学校づくり

三条市立大浦小学校

〒955-0166 新潟県三条市上大浦666番地

電話 (0256) 46-2018

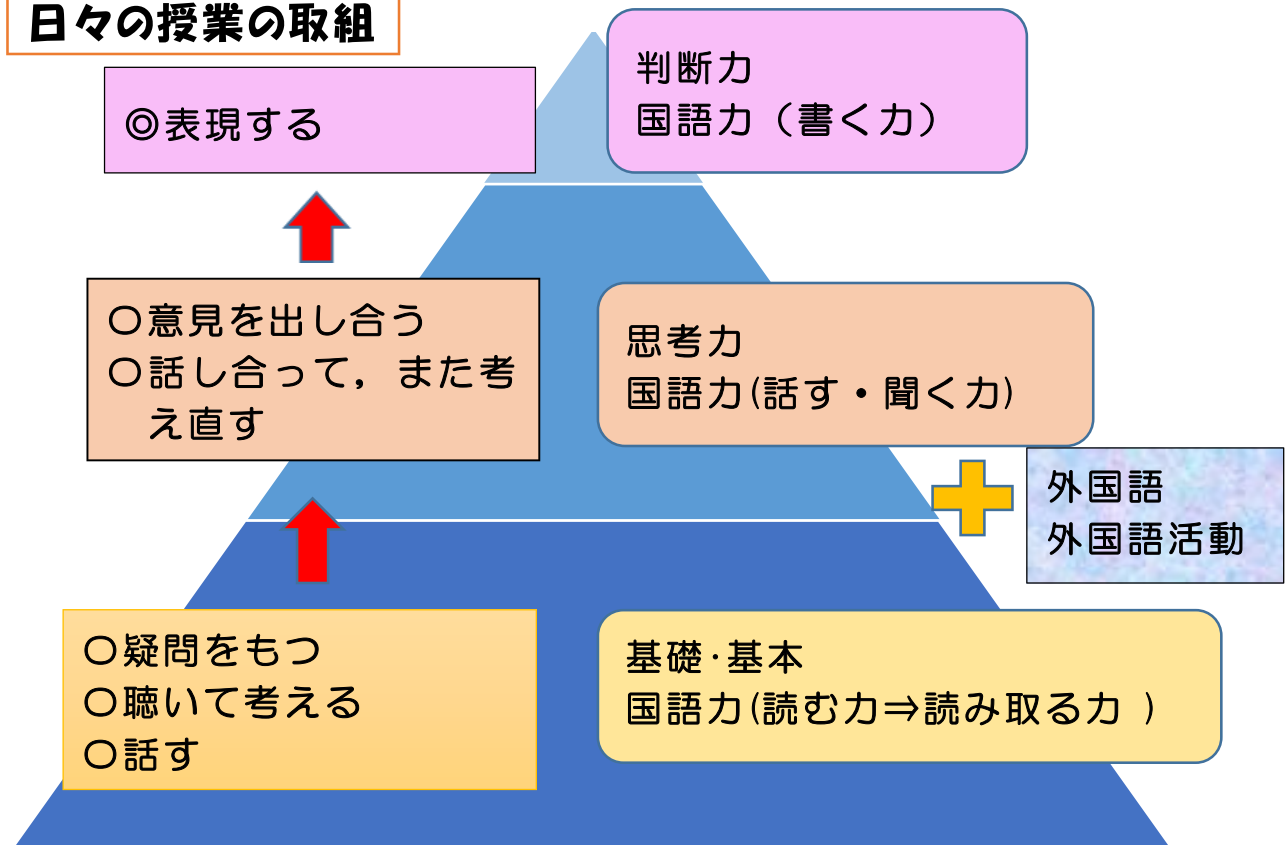
FAX (0256) 46-2170

E-Mail ourasyo@ed.city.sanjo.niigata.jp

平成31年3月

学力向上に向けた取組【知】
～基礎・基本と思考力・判断力の向上を目指して～

日々の授業の取組



学びを支える日常的な取組



Webタイム
個別タイム

スピーチ朝会



朝読書

学びタイム



音読タイム

家庭での学習と本に親しむ取組

- (1) 家庭学習の習慣が身に付くようにいきいきパワーアップ週間を設定しました。(年間4回)
- (2) 三条市立図書館や大いちょうグループ・図書委員会と連携して、本に親しめるようにしました。

いきいきパワーアップ週間～学習・読書～(6月・9月・11月・2月)

～生活リズムを整え、学習意欲を高める取組～

・ただの郷学園では、『いきいきパワーアップカード』を使い、中学校の考査期間に合わせて期間を設定しました。

【家庭学習】

- 全校国語・算数テストに向けた計画的な学習
- 決められた課題＋自主的な学習に取り組むための家庭学習カードの活用

【学校では…】

- 家庭学習タイム
家庭学習の内容・時間の計画
- いきいきパワーアップカードの点検
子どもに合った励ましや賞賛、アドバイス

家庭学習のやくそく

- ① 家庭学習(学年×10分以上)
- ② 音読・読書タイム
- ③ いきいきパワーアップカード(自己評価)

【家庭では…】

- ノーマディアタイムの協力
家庭学習に集中させる環境づくり
- いきいきパワーアップカードの点検
自信のもてる励ましや賞賛

【読書】

- 宿題・自主学習としての読書
- 読書の足跡を残す「読書カード」
- ブックトーク(市図書館)や読み聞かせ(上学年)、おすすめの本紹介(児童)、ビブリオバトル(児童)による意欲の向上



大いちょう読書会

何だかおもしろそう。今度借りてみよう。

ブックトーク

ビブリオバトル



このお話がおもしろいよ。ぜひ、読んでみて。

上学年によるリーディングバティ



わたしたちは日々、学びつづけています

「よく考え 表現する子」を育てるために、**研究授業**や日々の**授業改善**、**職員研修**をととして私たち職員は、学び続けています。今年度は「子どもが興味・関心を持ち主体的に取り組む授業」を目指し、国語を中心とした授業研修を積み重ねてきました。

○研究授業…単元の前半と後半で、1人2回の公開授業をしました。

○授業改善

プレ授業・公開授業までに

【指導案作り】

子どもたちの実態を分析し、研究授業を行う学習内容を決めます。そして、授業者が授業の進め方や支援を考え、「指導案」を作ります。



【指導案の話し合い】

どんな手立て（発問の工夫・話し合いのさせ方）で、子どもたちに力を付けるのか、職員が考えを出し合います。

【プレ授業】

同学年部職員が参観します。



【指導案検討会】

後半の授業について話し合います。

【公開授業】

全職員と教育委員会の指導主事が授業を参観します。



【協議会】

成果と課題を明らかにします。指導主事から、授業についての指導を受けます。



【まとめの共有】

公開授業で学んだことを共有し、日々の授業に生かしていきます。



子どもが考えたくなる課題
になっているか？

子どもたちが目を輝かせて授業が進むように、これからも職員で力を合わせて学び続けます。

○職員研修(外国語研修)

2020 年度から教科化される5, 6年生の「外国語」、新しく導入される3, 4年生の「外国語活動」の完全実施に向け、職員で研修を行いました。教材をどう使い、どう授業を組み立てるか、どのような指導法があるのか学び合いました。



国語

「どうして?」「〇〇さんと似ていて〇〇だと思うよ。」…と子どもたちが自分の意見を言うだけでなく、友達の話聞いて関わりながら話したり考えたりしていくようになってきました。言いたいという意欲、進んで考えようとする態度が随所に見られる授業になってきています。

1年「登場人物の気持ちを想像しよう」

音読してきたことを踏まえ、これまで抜けなかったかぶが、一転して抜けた時のおじいさんの気持ちを想像しました。音読だけではなかなか分かりづらい部分は、実際に体を動かしながら、音読をやり、楽しみながら登場人物の気持ちを読み取ることができました。



2年「登場人物になりきって音読しよう」

「音読劇を発表しよう」という目標を立てて、『名前を見てちょうだい』という物語文を読む学習をしました。書かれてあることを動作に表すことで、読むだけでは理解しにくい登場人物の気持ちや場面の様子を想像しながら、楽しく内容を読み取ることができました。



3年「働く犬のリーフレットを作ろう」

文章全体をバラバラにした短冊を並べ替え、文と文のつながりや段落構成を考えながら書かれてある内容を読み取りました。大事な言葉や文を見つけ、文を要約することを学んだことをもとに、さまざまな働く犬についてのリーフレットを作ることができました。



4年「物語を読んで感想を伝え合おう」

主人公がもつと考えられる気持ちはいくつあるかという問題に取り組むことで、少ない人数でも多様な考えを出し合いました。全体発表では、主人公の気持ちを書いた短冊を黒板に貼り、グループ分けをしていくことで、自分と他人の考えの違いを明確に理解できました。



5年「物語の良さを解説しよう」

「雨二モマケズ」の詩から宮沢賢治の人物像を考えることで、「注文の多い料理店」の主題を考えるヒントを探りました。登場人物の人柄を考えたり、物語の結末についてグループで話し合ったりする活動を通し、作者が伝えたかったことを考えることができました。



6年「新聞を読み比べ、意見文を書こう」

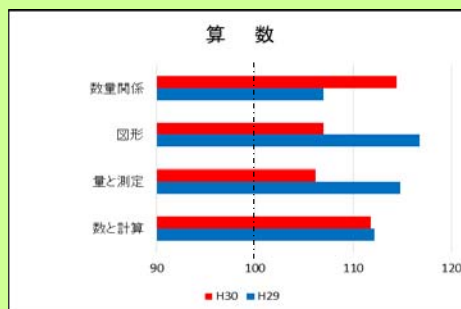
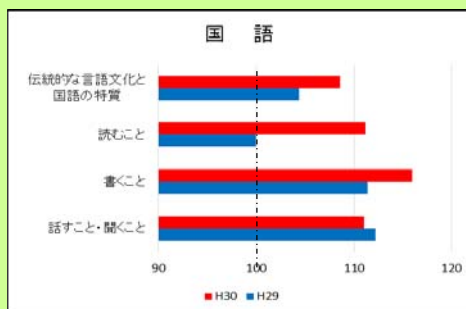
4種類の投書を読み比べ、共通点や違いを見付け、筆者の主張の内容、文の構成や説得力のある投書にするための工夫を探りました。そして最後は、4つの投書を参考に、それぞれの良さを取り入れて自分の主張を書いて、投書を完成させみんなで読み合いました。



各種テスト結果から見た大浦小学校の学力状況

① 標準学力検査NRTより

※ 4月実施

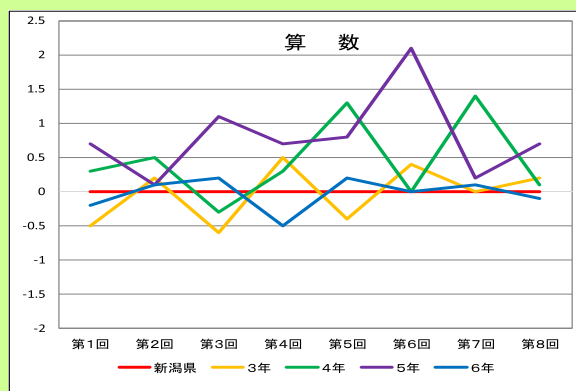
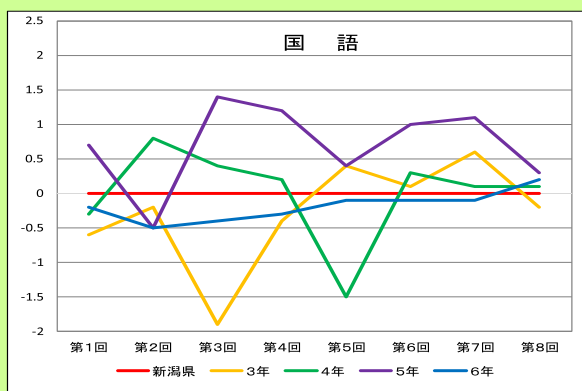


NRTは前学年（昨年度）の学習内容に関する検査です。全国標準は100なので、どの内容も全国標準以上でした。

昨年度に比べ、国語は「話すこと・聞くこと」以外の項目は向上しました。算数は数値を下げた項目がありますが、依然として100超の数値で推移しており、国語と算数をバランスよく学習し、学力を身に付けてきたことが分かりました。

② Web 診断問題より（県平均との比較）

※ 5～3月実施（計10回）

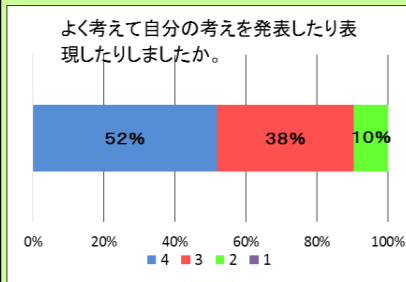


国語と算数のグラフを比較すると、算数よりも国語の方が上下の変化が大きくなっています。国語の学力の定着が不十分だったり苦手意識をもっていたりする内容があることを示しています。一方、算数は上下の変化が少なく、上方にグラフが伸びていることから、県平均より若干高く、どの学習内容に対しても安定した力を発揮できていることが分かります。

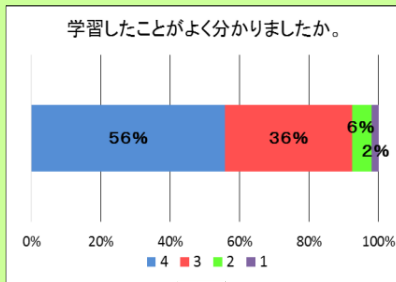
国語で落ち込みが見られたのは、主語・述語、句読点などの『言語事項』、段落や改行、見出し（題）などの『文章力（表現力）』に関する問題でした。これまでと同様に作文を書くことに慣れさせながら、伝えたいことを整理し、効果的な順序で作文を書くなどの文章構成の工夫に目を向けさせる指導が必要です。

来年度からWeb診断問題が変わり、年10回から年2回（6年生は全国学力学習状況調査があるため1回）となります。回数が減った分、問題数が多くなり、学んだことを活用する力が試されます。基礎・基本の学力定着とともに日頃の授業・指導方法の改善が課題となります。

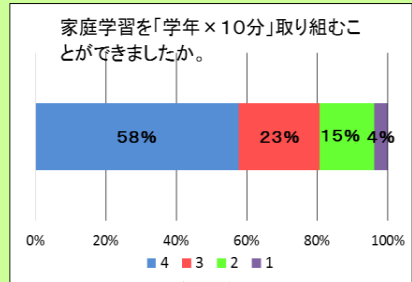
児童アンケート



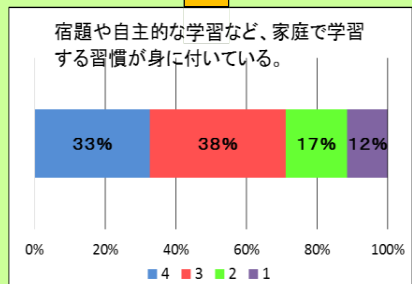
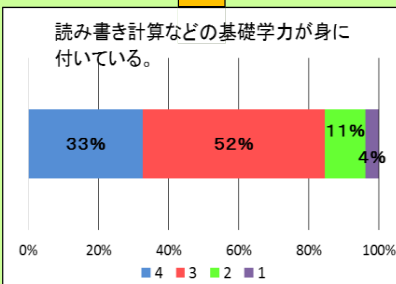
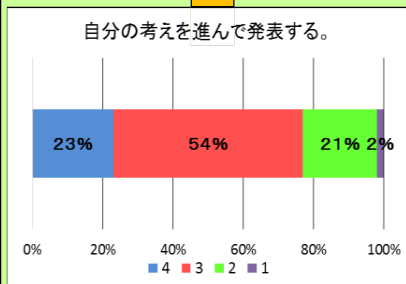
発表



学習



家庭学習



保護者アンケート

■ 4 そう思う ■ 3 大体そう思う
 ■ 2 あまり思わない ■ 1 思わない

児童・保護者アンケート結果から ※ 12月上旬に実施

- ◆ 学習に対する児童の自己評価と保護者の評価は、肯定的な評価(3, 4の評価)の割合が約80%以上で良好な結果でした。しかし、否定的な評価の割合(1, 2の評価)に変化はないものの、児童、保護者ともに4(そう思う)が減少した分だけ3(大体そう思う)が増加している点が若干気になるところです。前述のNRTやWeb診断問題の結果が良くなっているだけに少し残念です。学力の向上を実感できるように支援していきます。
- ◆ 家庭学習についての肯定的評価は、児童が81%, 保護者が71%で、両者の差が10%でした。昨年度には25%もの差があったことを考えると、児童の評価と保護者の評価が近付いて(妥当性が増して)います。保護者の皆さんから、お子さんの家庭学習の様子をよく見ていただいている結果とも言えます。本当にありがたいことです。

その一方で、児童の否定的評価が昨年度と比べて、7%→19%に増加しています。家庭学習に取り組めていない児童が5~6人増えたことを示しています。家庭学習の習慣は、今後も続く大切なことです。学校では、家庭学習で何をするか決める時間(家庭学習タイム)を日常化する予定です。また、家庭学習についての調査(アンケート)も検討しています。家庭学習の習慣化のために、保護者の皆様と協力しながら取組を推進していきます。

きつな 大浦希繫プロジェクト

～ふるさと大浦に愛着をもち、未来を力強く切り拓く子どもの育成～

「生活・総合」の取組

1年 生活科「おおうら だいすき」



季節ごとにグラウンドを探検し、植物や生き物を見付け、大浦の自然のすばらしさを感じました。

カンゾウの苗植えや鮎の放流活動では、地域の方々の温かい気持ちに触れることができました。生活科の学習を通して、大浦の良いところをたくさん見付けました。

2年 生活科「わたしたちの町たんけん」

大浦の「すてき」を発見するために、各地区の様々な場所を探検しました。今まで行ったことのない場所に行き、地域の方から、そこがどんな場所なのか、どんな物があるのかを教えていただきました。探検を通して、大浦のすてきな場所や物、そして、地域の方々の温かさに気付くことができました。



3年 地域学習「くまどう山とわたしたち」

熊堂山の植物を観察し、食べられる植物と生活に役立つ植物があることを知りました。下田の伝統工芸でもある大谷地和紙の原料が熊堂山にも野生していることを知り、下田地区の文化にも興味をもつことができました。



4年 環境学習「ハッピー9 川たんけん隊」



大浦地区の小川で生き物を採取し、生き物マップにまとめました。川への愛着を深めた後、小川、五十嵐川、ダム、山の関係などについて五十嵐川漁協の飯塚組合長さんからお話を伺い、自分たちがふるさとの川のためにできることを考えて、実行しました。

5年 米の学習「大浦のおいしい米」

手作業での田植え・稲刈りを体験し、作業の機械化の重要性を実感しました。農業機械の製造工場を見学したり、農家の小浦方さんからお話を伺ったりする活動を通して、地域のこれからの米作りについてみんなで考えました。



6年 キャリア教育「未来に向かってプロジェクト」

自分の将来の夢や未来について考えました。保育所や諸橋轍次記念館へ行き、体験や見学をしたり、パラリンピック選手や地元で働いている方々から話を聞いたりすることを通して、より広く考えたり学んだりしました。



「徳」 豊かな心の成長 ～学校行事の取組と作文指導～

学 校 行 事

活
動



校内マラソン大会



大浦大運動会



全校弥彦山登山

次
へ
の
意
欲
・
よ
り
よ
い
成
長
へ

作
文

わたしががんばったことは、2つあります。

一つ目は、1つのめあてがたっせいできたことです。わたしのめあては、3人こして、自分のさいこうきろくを出すことでした。わたしは、3人はこせなかったけど、とてもがんばれたと思います。

二つ目は、さい後までがんばって走ったことです。と中、あきらめていたけど、みんなが、「がんばれ。まだ、がんばれるよ。」と言ってくれてうれしかったです。

らい年もがんばりたいです。

タグおにごっこは、練習でいっぱい負けました。くやしかったけど、せいっぱいがんばりました。

本番、たたかっている時は、勝てるかなとドキドキしていました。ぼくはタグを3本取りました。がんばりました。でも、負けてしまいました。くっそーと思うぐらいくやしかったです。

ぼくは、協力してたたかって、全力でがんばるということをタグおにごっこをして学びました。

練習から本番まで白組にタグおにごっこで負けても、ゆう気を持って全力でがんばりました。

ぼくが弥彦山登山でがんばったことの一つ目は、みんなのペースを見て登ったことです。一番先頭なので、後ろを見て歩かないといけませんでした。最初のころは、ペースを合わせることができなかったけど、途中から後ろを見ながら歩けるようになりました。

二つ目は、みんなに声をかけながら登山することでした。ぼくは6年生なので、元気がなかったら声をかけて登ろうと思っていました。(中略)自分も疲れたけれど、1年生や他の学年が疲れたところに声をかけることができました。みんなが無事登山できて、うれしかったです。

みんなのおうえん、とってもうれしかったね。さい後まで、せいっぱい走りきることができたね。そのがんばりが、自分の力になっているよ。がんばったね。

負けても「協力して全力でがんばる」大切さを学んでいて、すばらしいと思いました。これからいろいろなことに「ゆう気をもって全力」で取り組んでいきましょう。

合わせることができなかったペースを徐々につかんだり、自分が疲れてきたときに、下級生のことを思いやって声をかけたりできたことは、すばらしい成長です。

励 ま し ・ 賞 賛

大いちょう活動

大いちょうグループでは、3つの目標に向かって活動しています。

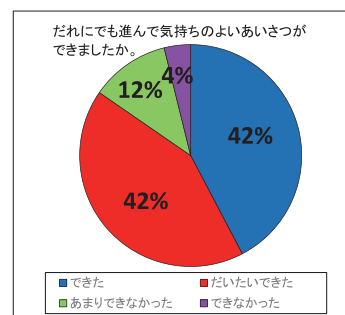
- ① 人とかかわる喜びを感じ、社会性の基礎を育みます。
- ② 誰かの役に立てたという成就感を感じ、自己有用感を育みます。
- ③ 自分たちの力で問題を解決していく自主的、実践的な態度を育みます。



あいさつ運動～ハロープロジェクト～

大浦小学校では、年間を通して「元気のよいあいさつ・返事をしよう」を生活目標にし、「ハロープロジェクト」というあいさつ運動に取り組んでいます。今年度は、「あいさつの花を咲かせよう」や「あいさつマスターになろう！」の取組を行いました。自発的なあいさつの大切さや気持ちよさに、気が付いた児童が多くいました。今後も引き続き、あいさつの向上を目指して取り組んでいきます。

学校生活アンケート（児童）
2学期末実施



健やかな心と体で めあてを達成する子の育成

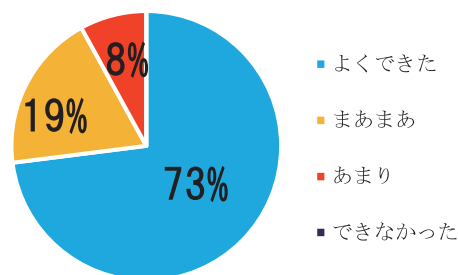
体育

体育カードを活用したり、800m走で日本3位になった野村さんや元Jリーガーの永井さんを講師として招いたりして、子どもが楽しく気持ちよく運動することに重点を置きました。それらの取組を通して「めあてを達成する子」の育成に努めました。



野村先生の走力アップ教室

2学期 児童アンケート
「楽しく、気持ちよく運動できたか」



全力を出し切ったマラソン大会

成果 児童の肯定的評価 92%

保護者の肯定的評価 81%

児童の肯定的評価が90%を超えました。また、「できなかった」が0%で、楽しく運動する方に人数が増えています。来年度も外部講師を活用するなど工夫して、運動する楽しさを味わわせていきたいと考えています。

保健

自分のめあての就寝時刻を守る子どもを目指して、しただの郷学園共通いきいきパワーアップ週間（年4回）に取り組みました。また、健康委員会が、児童朝会で睡眠の大切さの劇をして全校に呼びかけました。

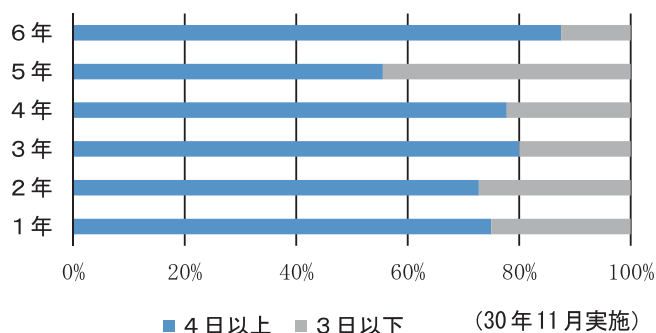


睡眠指導 3年



健康委員会による発表

いきいきパワーアップ週間で4日間以上
就寝時刻を守った児童の割合



成果 就寝時刻が5日間で4日間守れた 71.7%

しただの郷学園生活のきまりを基に、各家庭で就寝時刻を決め取り組んできました。家庭と連携して、よりよい生活習慣の継続・改善を目指します。

大浦小学校を支える大浦地域・PTAの取組

大浦地域コミュニティ「元気で明るいまちづくり」

「大浦地域コミュニティ」は、平成22年に“元気で明るいまちづくり”をテーマに掲げ設立されました。地域の安全・安心、青少年の健全育成、環境美化、地域活性化は、まちづくりの大きな課題です。

昨年度に引き続き、「三条市コミュニティ支援交付金」を受け、①大浦地区防犯パトロール、②クリスマスイルミネーション in 大浦、③環境美化活動、④地域の活性化を図る活動を展開してきました。

子どもの安全・安心のためのまちづくりの取組 ～大浦地区防犯パトロール～

平成30年度の大浦地区防犯パトロール隊は9名です。都合のよい時間で「ながらパトロール」を行いました。防犯パトロールの幟を設置し防犯活動を推進してきたおかげで、大きな事故やけがもなく元気に登下校をしています。

また、やまなみロードの寺田橋近くに看板を設置しました。



元気な子ども育成のためのまちづくりの取組 ～クリスマスイルミネーション in 大浦～

大浦小学校区育成会では、今年度も伝統あるイルミネーションを設置しました。点灯式には、子どもたちの歌声が響き、出店やゲームコーナーは大勢の人で賑わいました。

新聞に掲載され、ますますその知名度がアップしました。家族連れなど多くの人々が見学に訪れました。



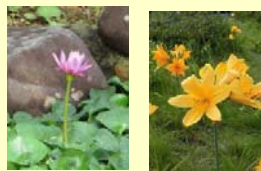
県央の冬優しく照らす

新潟日報 平成30年12月14日(金)



環境美化のためのまちづくりの取組 ～大浦希繫(キツナ)プロジェクト～

4年目となった「大浦希繫(キツナ)プロジェクト」では、地域住民と児童・保護者・教職員による春と秋の環境整備作業を行いました。熊堂山遊歩道整備、カンゾウの花壇づくり、ピオトープ清掃、樹木の枝打ち、ヒメサユリ球根植え等を行いました。



「秋の芸術祭 2018」では、大浦体験教室として、



「ステンドグラス風アート」「熊堂山の森づくり」「ストップモーション動画」を制作しました。

地域の活性化のためのまちづくりの取組 ～下大浦地区の取組～

大祭を4月15日、8月16日に実施しました。神楽奉納と後継者育成、用具の維持管理等を行いました。また、升箕公園周辺の除草、トイレ清掃・管理に取り組みました。

防災活動では、消火栓修理、消防ポンプ操作、放水訓練を行い、防災意識の向上に努めました。



PTA の取組

春と秋に環境整備作業を行いました。大浦共和会、地域住民と協力し、熊堂山遊歩道の階段設置や下草刈り、グラウンド芝切り、側溝・ピオトープ清掃、ヒメサユリ球根植えなどを行いました。

1月のホワイトフェスティバルでは、保体部による親子ジャンボカルタ大会を実施し、親子(三世代)のふれあいと郷土愛を深めました。



春と秋の環境整備作業